

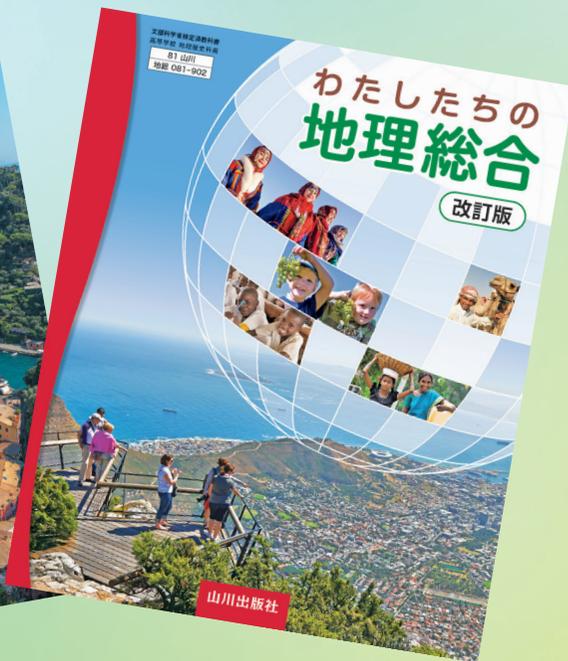
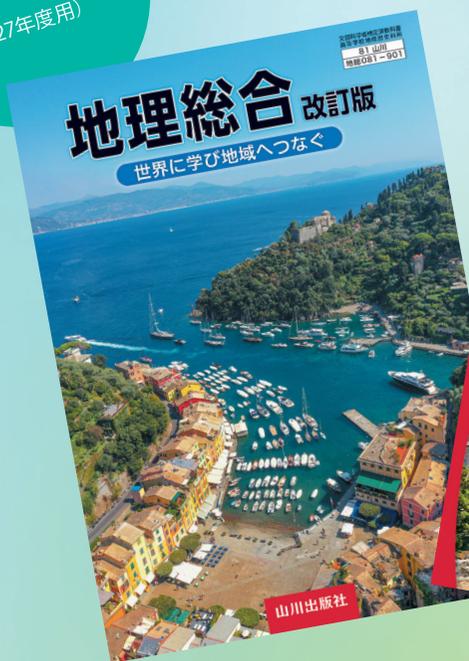
教科書内容解説資料

地理総合

GEOGRAPHY

「教える」をわかりやすく
山川の地理総合

令和9年度用
(2027年度用)



内容解説資料



山川出版社

教科書から
学びをひらき、
未来に豊かさを
結び続ける。



YAMAKAWA GEOGRAPHY

「地理的な見方・考え方」が、
未来を生きる力になる。

専門性

長く地理の教科書を
専門に発行し続けてきた
旧二宮書店の知見を結集

わかりやすさ

専門外の先生でも
授業設計がしやすい紙面構成

負担軽減

デジタル教材、指導書、
準拠ワークの充実で授業をサポート

NEXT ▶

日本や世界の諸事象を鮮やかに描き出すことで、未来を担う国際人としての資質を養います。身近な地域の課題から地球規模の諸課題まで、その現状を深く理解し、解決へと導く「構想力」を育成し、より良い未来を築く主体となり、社会に貢献できる人材を育てます。

山川が先生方に選ばれる理由

01



専門性

地理専門の
教科書会社による
確かな内容！

地理の教科書を長らく発行してきた 旧二宮書店のイズムを 継承する地理総合

地理教育の現場を支え続けてきた二宮書店の知見を凝縮し、最新の記述と、正確な統計データに基づいた信頼性の高い教科書を用意しました。日本や世界の諸事象を深く掘り下げた内容は、生徒の知的好奇心を刺激し、地域社会や地球規模の課題を正しく理解して解決する力を養います。

02



専門性

授業スタイルに合わせて
教科書を選べる！

地理の基礎を網羅した教科書と、 主題型(テーマ型)で紙面を展開する 2冊の教科書

全編を通して豊富な知識量とビジュアル資料から構成し、知的好奇心を絶えず刺激する内容の教科書と、各単元にテーマ(主題)を設定し、「なぜ？」から地理を学ぶことのできる教科書を用意しました。先生の授業スタイルに合わせて、確実な知識定着を図る網羅型の『地理総合』か、論理的思考を磨く主題型の『わたしたちの地理総合』か、授業のねらいにつながる一冊をご提案します。

03



わかりやすさ

何を学ぶのかが
はっきりしているからこそ
使いやすい！

各単元に「目的」と「まとめ」が しっかりあるので、先生にとっても、 生徒にとっても到達点が明確に！

各単元(各見開き)には、冒頭に学習の目的(901=「学習のテーマ」・902=「学習の流れ」)を明確にし、授業の終わりには各単元で学んだ知識を定着し、さらに考察を深めるまとめ(901=「まとめと考察」・902=「まとめよう」)を設定しました。先生にとっても、また生徒にとっても、授業で何を学ぶのかが明確にし、獲得した知識を土台にして、自ら問いを立て、探究を深めるための道筋を提示します。

04



わかりやすさ

身につけた知識を活用して
アクティブラーニングに
無理なく取り組める！

教科書の中にさまざまな生徒参加型の
授業案を盛り込んでいるので、
楽しみながら授業ができる！

学習した知識を活かして、生徒が主体的に参加し、対話をしながら課題解決能力を養う「アクティビティ」ページを設けています。生徒はクラスメートと協働しながら学ぶことで、自分とは異なる意見や視点に触れながら、物事をより深く理解することが期待できます。普通の授業とは異なる対話型の活動により、課題解決に向けて自ら主体的に探究しようとする積極的な姿勢を育みます。

05



負担軽減

周辺教材の充実
授業を全面的にサポート！

指導書からデジタルコンテンツ、
準拠ノートまで、多彩なツールで
先生の授業を強力にバックアップ！

教科書の記述を補完して説明した教師用指導書やテキスト、画像、スライド、問題例など授業でフル活用できるデジタルコンテンツ、さらに知識の定着を助ける準拠ノートと、授業の準備から生徒のアウトプットまであらゆる場面で質の高い授業設計を支援します。

06



負担軽減

学習の達成度を
生徒自らに振り返らせる
リフレクションシートを用意！

生徒自らに「達成度」を示すため、
観点別評価の根拠が
より明確になります。

「観点別評価」に完全対応した振り返りシートを用意しました。单元ごとの評価ポイントが明確で、生徒は自ら振り返るため、達成度が可視化されます。Excelデータのため編集も容易で、先生の校務負担を大幅に軽減します。

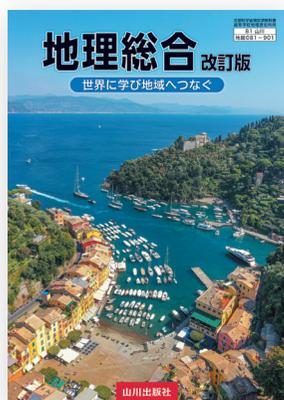
山川の「地理総合」は授業スタイルで

基礎知識と技能を学び、その先の理解を深める
基礎から大学入試までカバーする授業スタイルには



地理総合 改訂版

基礎から大学入試まで対応し、国際理解の単元では世界10地域を4つの視点で取り上げています。自ら考え、深い学びを実現できる教科書です。



地総081-901
B5判・262頁

執筆者

菊地 俊夫 東京都立大学名誉教授
松山 洋 東京都立大学教授
湯澤 規子 法政大学教授
飯塚 遼 帝京大学准教授
田中 隆志 群馬県立藤岡中央高等学校教諭
中村 洋介 愛知学院大学講師
栗山 絵理 東京学芸大学附属高等学校教諭
駒木 伸比古 愛知大学教授
矢部 直人 東京都立大学教授

矢ヶ崎 太洋 兵庫県立大学准教授
秋本 洋子 早稲田中学校・高等学校教諭
伊東 敦子 早稲田実業学校中等部・高等部教諭
伊藤 恵 仙台育英学園高等学校教諭
北崎 幸之助 攻玉社中学校・高等学校教諭
小林 岳人 千葉県立幕張総合高等学校教諭
時実 香奈子 豊島岡女子学園高等学校教諭
株式会社 山川出版社

編集協力者

松井 圭介 筑波大学教授
新堀 毅 東京都立日比谷高等学校講師
糸井 剛志 京都府立洛北高等学校教諭
清沢 創一 長野県松本深志高等学校教諭
佐藤 ゆきの 早稲田実業学校中等部・高等部教諭
澤田 俊一 千葉県立柏高等学校教諭
長野 真 文化学園長野中学高等学校教諭
名倉 一希 海城中学高等学校教諭
沼畑 早苗 お茶の水女子大学附属高等学校教諭

1. 基礎から大学入試まで最新情報が満載

必修科目としての必要な知識を、バランスよく過不足なく取り上げており、基礎から入試まで教えやすく学びやすい教科書です。GISの発達に対応し、国際情勢の変化や、気候変動、少子化の加速など、本文・図版を最新のものに更新しました。

詳しくはP16～P17

2. 4つの視点からみる世界10地域

第3章「世界各地の生活文化」では、世界10地域を「自然」「社会」「経済」「開発」の4つの視点に分けて取り上げました。4つの視点からそれぞれ必要な事例地域を選ぶことにより、学校の特性に応じた多様な教え方に対応することができます。

3. 思考力・判断力・表現力を養う特設ページ

見開きごとの学習事項を明確にし、自ら企画や調査などの探究活動を行う特設ページ「アクティビティ」と、学習の自己評価ができる章末のまとめを新設しました。また、SDGs(持続可能な開発目標)に対応した特設ページを中心に、課題を見出し理想とする社会を構想するために必要な思考力を養います。さらに、地理学習を進めていくのに必要な地図・GISの技能を段階的に習得でき、地図や統計を正しく解釈し、判断する力・表現する力を養います。

詳しくはP18～P19

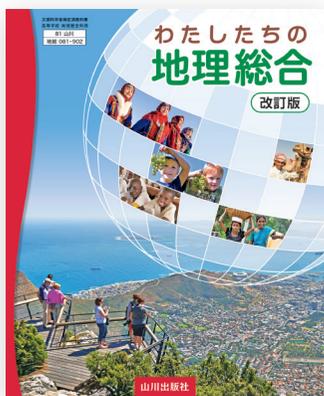
教科書を選べます

自ら考え、参加しながら学ぶ
アクティブラーニング型の授業スタイルには



わたしたちの地理総合 改訂版

全67テーマによる主題学習を軸に据えた展開で、生徒の主体的な学習を促す多彩なアクティビティを設定した教科書です。



地総081-902
AB判・230頁

執筆者

井田 仁康 筑波大学名誉教授
秋本 弘章 獨協大学教授
鈴木 允 横浜国立大学准教授
永田 成文 広島修道大学教授
長谷川 直子 お茶の水女子大学教授
平井 史生 駒澤大学非常勤講師
井上 明日香 神奈川県立希望ヶ丘高等学校教諭

河合 豊明 品川女子学院中部・高等部教諭
後藤 泰彦 千葉県立柏の葉高等学校教頭
今野 良祐 筑波大学附属坂戸高等学校教諭
齋藤 亮次 神山まるごと高等専門学校教諭
高井 寿文 早稲田大学本庄高等学院教諭
株式会社 山川出版社

編集協力者

目代 邦康 東北学院大学准教授
上田 聖矢 宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校教諭
太田 貴之 千葉県立千葉中学校・高等学校教諭
大平 寛紀 大妻中学高等学校教諭
佐藤 博之 明法中学・高等学校教諭
田中 岳人 同志社女子中学校・高等学校教諭
林 敦子 前東京都立江北高等学校教諭
林 靖子 獨協埼玉中学高等学校教諭

1. 授業の流れが自然で、生徒が迷わない

主題を設定し、流れに沿って学習を進められるよう、節の流れと、見開きごとの展開を工夫しました。「問かけ」など導入部を受け、知識を得て「まとめ」「アクティビティ」で学びを深めます。1授業1テーマとし、全部で67テーマを設定しました。

詳しくはP22～P23

2. 豊富なアクティビティで、授業が動く

生徒自らが主体的に、対話などを通して異なる意見や視点に触れながら活動する多彩な「アクティビティ」を用意しました。13種類のアクティビティは、学校の状況に応じて探究活動を行えるよう段階的に設定しています。

詳しくはP24～P25

3. 高校生活全体に生きる地理の学び

社会課題やキャリア教育と関連づけた内容を章末で紹介し、学習と現実社会を結びつけています。地球温暖化や都市問題などの身近な課題を地理的視点で読み解く力を育て、生徒自身が社会の動きを「自分ごと」として考えられるように構成しています。さらに、分析力・判断力・発表力など、将来の進路や学びに生きる「地理の力」を具体的に示し、地理学習の意義を明確に伝えます。

各章の流れ

導入ページ

章で学ぶことを概観

本章で学習する地形・気候・産業・文化のイントロとして、写真から生活文化の特徴を読み取り、その背景を見出す方法を紹介しています。

授業ページ

世界と日本の「今」を捉える

(例)世界の気候
世界の気候を区分してとらえ、それぞれの気候帯の特徴と、生活文化との関わりについて学習します。最新のメッシュ気候値を用いた気候区分図や、それぞれの気候帯の分布図・代表的な地点の雨温図とともに、特徴的な気候景観の写真を豊富に掲載して、自然に対する関心を高めます。

特設ページ

思考力・判断力・表現力が身につくアクティビティ

(例)料理を通して生活文化について考えよう
地理的環境と生活文化の関連性を、世界各地の料理を実際に作ることで、楽しみながら考えられるよう工夫しました。

その他のアクティビティのテーマ

- 1章2節 アニメの聖地マップをつくらう
3章 旅行計画をつくらう
5章1節 身近な地域の災害リスクに備えよう
5章2節 地域調査の結果を発信使用

章のまとめ

知識・技能、思考・判断・表現の定着を確認できる「まとめ」ページを用意

2 導入 自然と人間が織りなすカラフルな世界
生活文化に影響を与える地理的条件とは?
このページは、自然と人間が織りなすカラフルな世界をテーマに、生活文化に影響を与える地理的条件について学びます。

3 世界と日本の「今」を捉える
このページは、世界と日本の「今」を捉えることを目的として、最新のメッシュ気候値を用いた気候区分図や、それぞれの気候帯の分布図・代表的な地点の雨温図を掲載しています。

4 思考力・判断力・表現力が身につくアクティビティ
料理を通して生活文化について考えよう
このページは、料理を通して生活文化について考えようというテーマで、世界各地の料理を実際に作ることで、楽しみながら考えられるよう工夫されています。



A高校 地理歴史科 1年生担当X先生の場合 食料問題を「飢餓」と「飽食」の二つの側面から学ぶ

10 min

導入

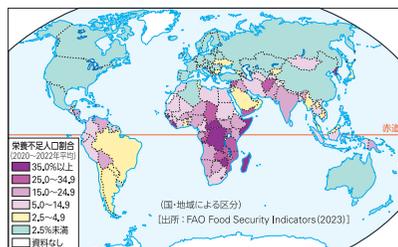
世界では飢餓で苦しむ人々がいる一方で、飽食の地域があるのはなぜか？世界で「食の不均衡」がおこる要因は何かを考えさせます。



15 min

「飢餓」の背景と、どのような課題があるかを探る

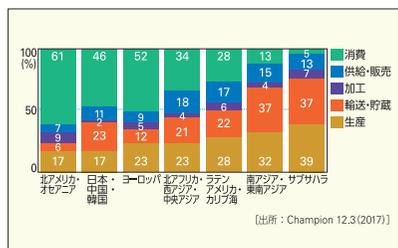
栄養不足人口割合や貧困層の割合が高い地域の分布の特徴を読み取り、栄養不足の背景にはどのような問題があるのかを理解させます。



15 min

「飽食」の現状と、生産された作物の用途について探る

世界における1人当たりの栄養供給量を確認し、主に先進国で見られる「飽食」の現状を理解させます。「食品ロス」はどの地域でも起こりうるものですが、その理由についてはさまざまであることを図からも読み取らせます。



10 min

食の不均衡について考察する

栄養不足の背景として、多くの作物が高所得の国や地域で消費されており、「食の不均衡」があることを理解させました。その不均衡を是正するために、どのような方策があるか、また、私たちはどのような手助けをすることができるか、SDGs2「飢餓をゼロに」の目標を紹介しながら、生徒に考察させました。



生徒の感想

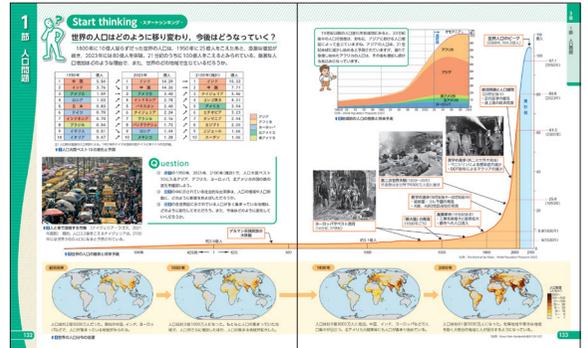
世界全体では人々が食べるのに十分な食料が生産されているはずなのに、場所によって「食べ過ぎ」と「飢餓」に極端に分かれている理由がよくわかりました。例えば、先進国の私たちが肉を食べるために、途上国の貴重な耕地が家畜の飼料作りに使われているという構造を知り、自分の食卓が遠い国の飢餓とつながっているんだということがわかりました。

各説の学習の流れ

導入ページ

学習意欲を高める

本章で学習する地形・気候・産業・文化のイントロとして、写真から生活文化の特徴を読み取り、その背景を見出す方法を紹介しています。



〔3章1節 人口問題〕での展開例

授業ページ

世界を大観し事例で考察する

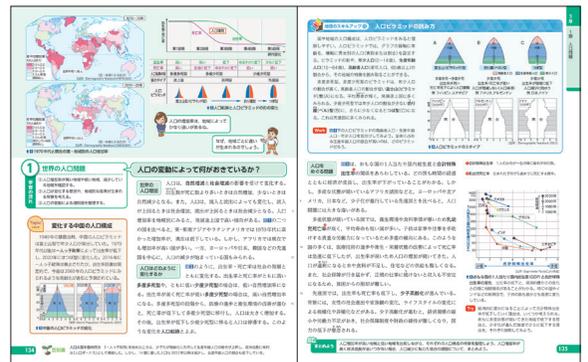
各節は、世界スケールで大観する学習と代表的な地域事例の学習をバランスよく組み合わせ構成しています。2章の自然環境・多文化共生・産業・グローバル化から3章の地球的課題へ、具体事例の蓄積を通して理解を深めます。

大観

各分野について世界スケールで分布や関連性を大観します。

地域事例

具体的な地域の自然的・社会的特徴をおさながら、地域の変化や課題を掘り下げます。



実践ページ

個人・グループで探究活動

Activity

各節末に、節で学習した「知識」や「見方・考え方」を働かせて取り組むアクティビティを用意。主体的に考え、取り組むための多彩な手法を設定しています。

主なアクティビティの手法とテーマ

- 2章1節 フォトランゲージ(自然環境と住居の工夫)
 - 2章3節 ジグソー法(産業構造から経済をみる)
 - 2章4節 商品企画(相手国の市場分析と商品企画)
 - 3章2節 ダイヤモンドランキング(食料援助の方法)
 - 3章4節 ディスカッション(エネルギー供給の方法)
- など、全13手法を掲載





B高校 地理歴史科 1年生担当Y先生の場合

アメリカの多様性が育まれた背景と課題について学ぶ

10 min

導入

メジャーリーグの大谷選手などを例にして、なぜアメリカの野球に挑戦しようとしたのかを考えさせます。「アメリカンドリーム」という言葉にはどのような意味があるのか、生徒に挙げさせました。



15 min

アメリカの建国について学ぶ

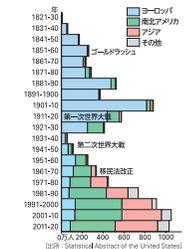
アメリカの独立当初から、西海岸に向けて領土を広げていく過程を説明します。また、さまざまな要因により世界中から移民が流入してきたことを説明し、現在の「多様性」のきっかけとなったことを意識させました。コラムにある「アメリカの地名の由来」などを取り上げながら説明すると生徒も関心を示しました。



15 min

アメリカの「サラダボウル」化について学ぶ

アメリカの移民の変遷図や地域別の人口構成から、それぞれの歴史的な背景を踏まえて説明し、多種多様な民族が混在しつつ、「アメリカ」という国を作り上げていることを学びます。それぞれの独自性を保ちつつ共存していることを例えて、「サラダボウル」と呼ばれていることを理解させました。



10 min

これからのアメリカについて考察する

アメリカの民族構成の変化予測について説明し、現在マイノリティとされる層が増加してくることを紹介しました。それによってこれからのアメリカはどのように変わっていくかを生徒に考えさせたところ、生徒からは、かつてのWASPが主流だった時代から大きく変わり、これからのアメリカは、民族的つながりだけでなく、「自由」や「平等」といった理念によるつながりが大事になってくるのではないかという意見も出ました。



生徒の感想

アメリカは「自由の国」というイメージが強かったけれど、その裏側には先住民の犠牲や奴隷制、人種差別という重い歴史があることがわかりました。多様性は最初から当たり前にあったものではなく、多くの人たちが権利を勝ち取るために努力してきた結果なんだとわかりました。常に「自由」と「平等」を求める姿勢がアメリカらしさなのかなと思いました。

先生方が実感したエピソード

Episode 1

地理総合 改訂版(901)

**世界10地域の記述の
配列がまとまっていて
教えやすいです**



国際理解(世界10地域)の説明がテーマ型の教科書のようにバラバラに載っているのではなく、まとまりをもって整理・配置されているため、授業の展開が作りやすく生徒の混乱も防ぐことができます。地理専門外の先生も教えやすいはずですよ。

Episode 2

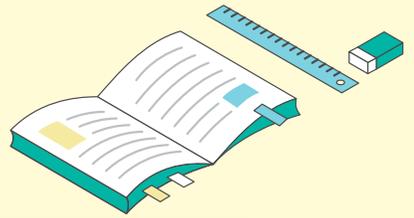
地理総合 改訂版(901)

**地理探究を見据えて
「考える」授業を
設計できています**



記述が充実しているため、地理探究で学習する内容を先取りしながら教えています。また、深い考察を促す問いを設定しているため、地理探究で求められる論理的思考力を養うのにとっても有効と感じています。特設ページがそのまま小論文対策に直結する点も心強いです。





Episode 3

わたしたちの地理総合 改訂版(902)

**冒頭の問いかけ文から
まとめに至るまで
ストーリーを持って
読み進められる**



各ページのタイトルとして設定されている問いかけの文章がわかりやすく、生徒たちも、このページでは何を主題として学習するのかをすぐに理解できているようです。導入の文章から、おしまいのまとめに至るまで、一貫したストーリーで構成されており使いやすいです。

Episode 4

わたしたちの地理総合 改訂版(902)

**アクティブラーニング素材が
豊富で、
生徒が楽しみながら
授業に参加しています**



アクティブラーニングの素材がとても豊富に用意されていますので、授業の中で取り入れてみたところ、生徒たちは積極的に取り組み、生徒同士で協力しながら臨んでいました。指導書教材にはアクティブ授業を進める上での手順や注意点も示されていましたので、問題なく進めることができました。

地理総合 改訂版 | 目次

第1章 地図とGISの活用

導入	進化する「もう一つの地球」の描き方	12
①	球面上の世界	14
1	球面的思考で地球上の位置をとらえる	14
2	地図を利用して世界の時刻をとらえる	16
3	平面的な地図で世界をとらえる	18
②	地図とGIS	22
1	身のまわりの地図を集める	22
2	国土の基盤としての地理院地図の活用	24
3	GIS・GNSSのしくみと地理空間情報の活用	28
アクティビティ①		
	アニメの聖地マップを作ろう。	34
③	国家の領域と国際関係	36
1	国家の成り立ちとその領域	36
2	海洋国家としての日本の領域・周辺水域	38
3	日本の領域に関する問題	40
4	国と国との結びつきと国産協力	42
④	人・モノ・情報のつながり	44
1	狭くなる地球～交通の発達	44
2	人のつながり～観光の発達	46
3	モノのつながり～貿易の発達	48
4	情報のつながり～通信の発達	50
第1章のまとめ		
		52

第2章 地理的環境の特色

導入	自然と人間が織りなすカラフルな世界	54
①	地形と生活文化	56
1	変動帯とプレート	56
2	河川がつくる地形と生活	58
3	海岸の地形と生活	60
4	さまざまな環境で形成される地形と生活	62
②	気候と生活文化	68
1	大気循環	68
2	気候の地域性	70
3	植生と気候区分	72
4	熱帯の自然環境と生活	76
5	乾燥帯の自然環境と生活	78
6	温帯の自然環境と生活	80
7	亜寒帯・寒帯の自然環境と生活	82
アクティビティ②		
	料理を通して生活文化について考えよう。	84
③	産業と生活文化	86
1	農業と生活文化	86
2	農業の発展と生活文化の変化	88
3	工業の発展と生活文化	90
4	商業・サービス業の発展と生活文化	92
④	宗教・言語と生活文化	94
1	宗教の広がり	94
2	言語の広がり	96
3	生活文化の画一化と多様化	98
第2章のまとめ		
		100

第3章 世界各地の生活文化

導入	水が育む人々の多様な生活文化	102
①	経済発展と生活文化の変化～東アジア	106
1	経済発展を支える自然・農業と生活文化	108
2	市場経済化と生活文化の変化～中国	110
3	輸出による発展と生活文化の変化～韓国	112
4	経済発展による変化と課題	114
②	宗教の多様性と生活文化～東南アジア	116
1	東南アジアの成り立ちと多様な民族	118
2	産業の発展と生活文化への影響	120
3	経済連携を通してつながる東南アジア	122
③	モンスーンの恵みと生活文化～南アジア	124
1	モンスーンによる恵みと生活文化	126
2	経済発展と課題	128
④	イスラーム社会の多様性と生活文化～イスラーム圏	130
1	乾燥地域とイスラームの社会	132
2	経済発展とイスラームの社会の変化	134
3	イスラーム圏の現状と課題	136
⑤	多様な自然の恵みと生活文化～アフリカ	138
1	多様な気候と生活文化	140
2	経済成長と自然環境の変化による課題	142
アクティビティ③		
	旅行計画を立ててみよう。	144
⑥	経済統合による生活文化の変化～EUと周辺諸国	146
1	経済発展の礎となった自然環境と農業	148
2	産業・交通の発達による一体化と生活文化	150
3	統合の背景と課題	152
⑦	寒冷地の開発と生活文化～ロシアと周辺諸国	154
1	寒冷な大地の生活と産業開発	156
2	寒冷地の開発による成長と課題	158
⑧	グローバル化による生活文化の変化～アンゴラアメリカ	160
1	経済発展の基盤となった社会の多様性	162
2	大規模な農業とグローバルな食文化	164
3	グローバル化による変化と課題	166
⑨	土地の開発による生活文化の形成～ラテンアメリカ	168
1	開発による農牧業の発展と生活文化	170
2	開発による発展と社会にみられる課題	172
⑩	植民と移民による生活文化の形成～オセアニア	174
1	植民による開発と生活文化	176
2	移民と多文化社会にみられる課題	178
第3章のまとめ		
		180



第4章 地球的課題と国際協力

導入 相互に関連する地球的課題～SDGs …… 182

1 地球環境問題 …… 184

1 さまざまな地球環境問題 …… 184

2 減少する熱帯林と進行する砂漠化 …… 186

SDGsと未来社会①

気温上昇を1.5℃に抑えられる社会 …… 188

2 資源・エネルギー問題 …… 190

1 多様な資源とその課題 …… 190

2 エネルギー資源の変化と課題 …… 192

SDGsと未来社会②

資源やエネルギーが循環する社会 …… 194

3 人口問題 …… 196

1 人口と人口問題 …… 196

2 世界各地の人口問題とその対策 …… 198

4 食料問題 …… 200

1 二つの食料問題とその背景 …… 200

2 食料問題に対する様々な取り組み …… 202

SDGsと未来社会③

安全で多様なトイレを利用できる社会 …… 204

5 居住・都市問題 …… 206

1 都市の成立と発展 …… 206

2 都市への人口集中と問題 …… 208

3 都市の成熟と再開発 …… 210

SDGsと未来社会④

移民・難民と地域が共生する社会 …… 212

第4章のまとめ …… 214

第5章 生活圏の諸課題

1 日本の自然環境と防災 …… 216

世界地図でとらえる自然災害のリスク …… 216

1 世界からみた日本の地形の特色 …… 218

2 世界からみた日本の気候の特色 …… 220

3 地震・津波と防災 …… 222

4 火山の噴火と防災 …… 224

5 風水害と防災 …… 226

6 都市型災害への備え …… 234

7 地域防災と復興 …… 236

アクティビティ①

身近な地域の災害リスクに備えよう。 …… 238

2 生活圏の諸課題と地域調査 …… 240

地理の力で地域の魅力発見や課題解決にチャレンジしよう …… 240

1 スケールを変えて見る地域の特徴と課題 …… 242

2 地域調査① パーチャルとリアルでの景観観察 …… 244

3 地域調査② 現地での聞き取り調査とまとめ …… 246

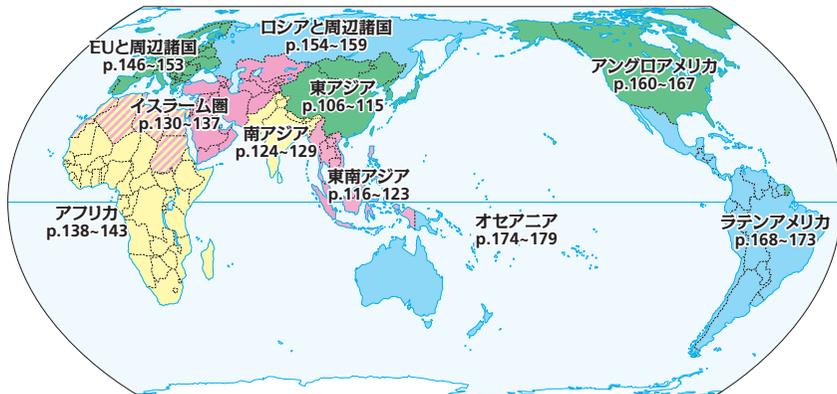
アクティビティ②

地域調査の結果を発信しよう。 …… 248

異文化理解を促す多彩な地域事例

- 自然・社会・経済・開発のそれぞれについて、ふさわしい事例地域を取り上げ、全体として**世界諸地域をもれなく**掲載しています。
- 生徒の異文化理解を促すために、**歴史的背景や、現在の生活文化の多様性を重視**して構成しています。
- 激動する国際情勢の現状を反映し、**新しいトピックや統計資料、主題図**を豊富に取り入れ、記述を更新しました。

地理的環境	着目する事例	事例地域
自然	水の恵み	③南アジア
	多様な気候	⑤アフリカ
社会	宗教の多様性	②東南アジア
	イスラーム社会の多様性	④イスラーム圏
経済	経済発展	①東アジア
	経済統合	⑥EUと周辺諸国
	グローバル化	⑧アングロアメリカ
開発	寒冷な気候	⑦ロシアと周辺諸国
	土地の開発	⑨ラテンアメリカ
	植民・移民と開発	⑩オセアニア



Feature

特色 1 図版・統計データの読解力が身に付く

「統計の山川」と言われるように、統計資料の正確さ、斬新さ、豊富さには定評があります。本教科書では統計資料の読み取り方を丁寧に示し、理解力の底上げをはかることができます。

特色 2 論理的なストーリーで理解しやすい

各ページに明確な「学習のテーマ」が設定されており、何を学ぶかが明確に示されています。本文では、豊富な図版とともに詳しい解説がなされ、おしまいに各単元の「まとめ」と「考察」というプロセスが徹底されています。

特色 3 見開き完結のレイアウト

基本的に1つのトピックが見開き（2ページ）で構成されているため、授業計画が立てやすく、生徒も「今日どこまでやるのか」が把握しやすい構成になっています。

節タイトルと導入の問いかけ

本節で何を学ぶのか、タイトルと、タイトルに添えたリード文（問いかけ）から、学習内容と主題となるポイントを理解させます。

「Sense of Wonder」を育む写真を豊富に掲載

写真には撮影年月を明記し、その地域のありのままの姿を正しく伝えるものを選んでいきます。

二次元コード（計79箇所）

動画や写真、関連ウェブサイトへのリンクや、資料のダウンロード先を載せています。

学習のテーマ

見開きで学ぶことについて、着目点を示した導入文です。

Checkマーク（計37箇所）

学習のテーマに沿って、図版の読み取り指示や簡単な作業例を示しています。

豆知識（計79箇所）

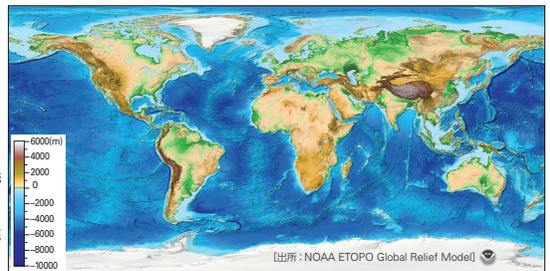
見開きで学習することに関連した、気づきを得られる楽しいトリアや、補足情報を載せています。

1 地形と生活文化

地形の違いはどこから生まれ、人々の暮らしとどのようにつながっているのだろうか？



↑ スイス中央部のルツェルン湖（2016年8月撮影）
写真のような自然景観は、どのような外的営力と内的営力を受けて形成されているのだろうか。



⇒ 世界の大陸と海洋の地形

QRコード ● 動画「地球の水を抜いてみた。」を見て、海底の地形を確認しよう。

1 変動帯とプレート

学習のテーマ

地球には陸地にも海底にも凹凸があり、さまざまな地形が形成されている。なぜそのような地形が生まれたのか、世界の地形やプレート分布を俯瞰し、学んでいこう。

図2で大陸や海底の起伏を大まかにとらえ、山脈、海溝、海嶺の分布の規則性を確認しよう。

① 変動帯
現在、地殻変動や火山活動が活発な帯状の地域をいう。

地形をつくる力 写真1のような風光明媚な景観を特徴づける地形は、内的営力と外的営力によって形成される。

内的営力は地球内部の熱エネルギーによる力で、土地を隆起、沈降、移動させたり、火山活動をおこしたりする。図2から世界全体の地形をみると、大陸部には標高の高い山脈が分布し、海洋には海溝や海嶺がみられる。そのような地形は内的営力の影響を大きく受けており、内的営力が強く作用する一帯を**変動帯**とよぶ。変動帯では、地殻変動や地震、火山の噴火が活発にみられる。

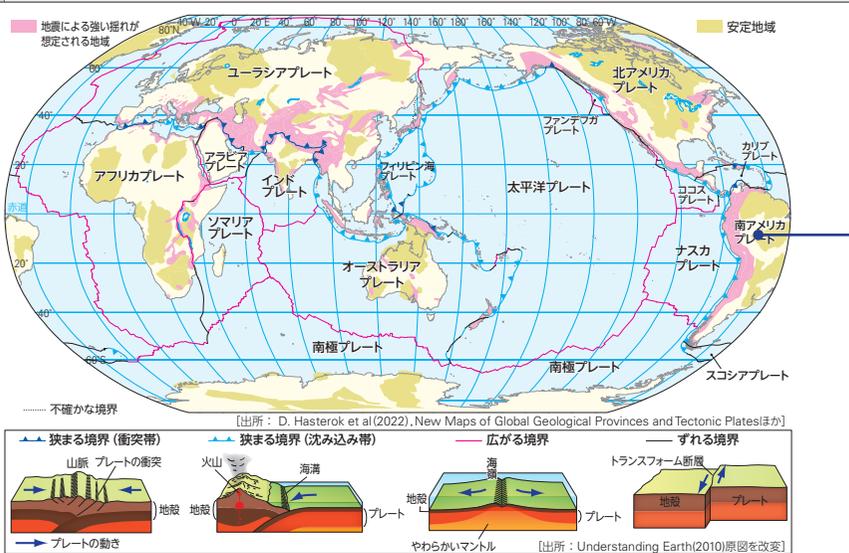
外的営力は太陽エネルギーや地球の重力を源にした力で、川や海などの水の流れや、氷河の動き、風などが、内的営力によって形成された地形を**侵食**する。侵食によって生じた土砂は**運搬**され**堆積**して、長い時間をかけて地形をなだらかにしていく。

豆知識 日本列島は標高1万mの山？ 富士山は3,776m。ほかにも3,000mを超える山脈もある。これを水深約8,000mの日本海溝の底からみると、高さ1万mを超える大山脈となる。

地理の技能

地理を学習し、課題に関する資料をまとめるために必要な技能を、段階を追って身につけます。

- ① 世界各地の現地時刻を計算してみよう 17
- ② デジタル地球儀を操作してみよう 20
- ③ ウェブ地図の基本操作を体験しよう 21
- ④ 地理院地図と地形図の見方 26
- ⑤ さまざまな主題図・グラフの表現 30
- ⑥ GISで主題図を作り考察しよう 32
- ⑦ 地理院地図・地形図の読図① 海岸段丘 64
- ⑧ 地理院地図・地形図の読図② 扇状地 65
- ⑨ 地理院地図・地形図の読図③ 自然堤防 66
- ⑩ 外国地形図の読図 氷河地形 67
- ⑪ ケッペンの気候区分を判定してみよう 74
- ⑫ 雨温図とハイサーグラフを描いてみよう 75
- ⑬ デジタル地球儀を国際理解に活用する 104
- ⑭ 人口ピラミッドを読み解く 197
- ⑮ 地震・津波ハザードマップを読み解く 228
- ⑯ 噴火ハザードマップを読み解く 230
- ⑰ 新旧地形図の比較から水害を考える 232



↑ 世界のプレート分布とプレート境界の型

プレートテクトニクス 地球の表面は、プレート^②とよばれる厚さ数十～100kmの岩盤に覆われていて、大きくは十数枚のプレートに分かれている(図3)。それぞれのプレートは内的営力によって動き、衝突したり離れたりすることによって大規模な地形が生まれる。こうした考え方をプレートテクトニクスという。

プレートの境界は、四つの型に分けられる。二つのプレートが近づくところを**狭まる境界**といい、衝突帯と沈み込み帯がある。大陸プレート同士がぶつかりあう衝突帯では、地球表層の岩石の厚みが増してヒマラヤ山脈やアルプス山脈などの大山脈ができる。沈み込み帯では、大陸プレートの下に海洋プレートが沈み込むことで海溝が形成され、地震も多く発生する。沈み込んだ海洋プレートの上部では一部の岩石が溶けてマグマが生じ、火山ができる。

二つのプレートが離れるところを**広がる境界**といい、地下のマントルからマグマが上昇し、新しい岩石が生まれることで海嶺や地溝帯ができる。二つのプレートが互に行き交う境界は**ずれる境界**といい、地震が多発する。一方、プレートの境界から離れ、カンブリア紀以前(約5.4億年前まで)に安定化した部分を**安定地域**といい、なだらかな地形となっていて、地震や火山噴火は少ない。

② プレート プレートは海洋プレートと大陸プレートに大別される。海洋プレートは大陸プレートに比べて比重が大きいため、両プレートが衝突すると、海洋プレートが沈み込み、海溝が生まれる。大陸プレート同士が衝突した場合は沈み込みが小さい。

④ プレート境界にはどのような地形がみられるか、図3と地図帳の一般図を対比させ、確認してみよう。

まとめと考察
まとめ 地震や火山が多いのはどのような場所であるのか、まとめてみよう。
考察 起伏のある山地や火山の周辺の暮らしにはどのような恵みがあるか、考えてみよう。

情報源 今日はどこで地震が発生している？ アメリカの地震調査所(USGS)の[Latest earthquakes]では、過去24時間のマグニチュード2.5以上の震源を地図上で確認することができる。

最新のGISデータで更新
プレート地図や気候区分図などは、GISのデータを活用して最新のものに更新しました。

用語解説・内容補充
用語の定義や、本文に書ききれない内容について、欄外で丁寧に説明しています。

地図帳マーク(計32箇所)
学習内容の全体像が理解しやすいような、地図帳の活用方法を具体的に示しています。

まとめと考察
2つの問いにより、見開きで学んだことの定着をはかり、探究を促します。

情報源(計79箇所)
自ら調べて学習する手がかりとなる、良質な資料や情報が得られるウェブサイトや資料を紹介しています。

本教科書の第4章「地球的課題と国際協力」では、特設ページとして「SDGsと未来社会」を設置しています。持続可能な開発目標 (SDGs) の具体的な目標についての考察から、理想的な未来社会を自ら構想することを目的としたページとなります。

4章4節 食料問題の節末には「安全で多様なトイレを利用できる社会」を設け、SDGs目標6「安全な水とトイレを世界中に」に着目し、従来地理教科書では取り上げられてこなかった「トイレ」をテーマにして世界の暮らしの多様性について学びます。安全で「多様な」トイレという視点で、世界のトイレ事情を知ることから理想のトイレについて話し合います。

その他の テーマ

- 4章1節 地球環境問題 → SDGsと未来社会①「気温上昇を1.5℃に抑えられる社会」(p.188)
- 4章2節 資源・エネルギー問題 → SDGsと未来社会②「資源やエネルギーが循環する社会」(p.194)
- 4章5節 居住・都市問題 → SDGsと未来社会④「移民・難民と地域が共生する社会」(p.212)

タイトルと問いかけ

私たちが生活をするうえで当たり前のように身近にあるトイレも、ひとたび世界に目を向けると、事情が違うことを気づかせます。

世界の現状を知る写真

世界のさまざまな国にあるトイレの写真から、それぞれの社会が抱える課題を考察させることができます。

主題図の比較から世界を見る

水とトイレに関わる世界の現状について、SDGsの指標にもなっている統計をもとに考えさせます。

トイレに関する記述

これまで地理の教科書では生活文化として「衣食住」を中心に考えてきましたが、そこに「水」と「便」を加えて考えさせます。生きるうえで「食べること」と同様、「出すこと」もまた不可欠であるからです。

SDGsと未来社会③



安全で多様なトイレを利用できる社会

私たちが生きる上で欠かせないものとは何だろう？



SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」は、生きる上で一番大切なことを掲げたものです。全ての人が安心して利用できる、理想のトイレのあり方とは何でしょうか。世界のトイレの事例や身近な課題もと、具体的に考えてみましょう。



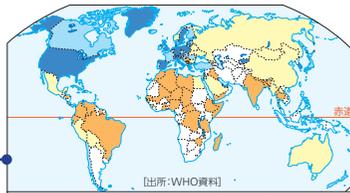
↑1 家族での水汲み (エスワティニールボンボ, 2018年11月撮影) 乾季には、枯れた川底を掘り、わずかにたまる水を家族総出で汲んでいる。



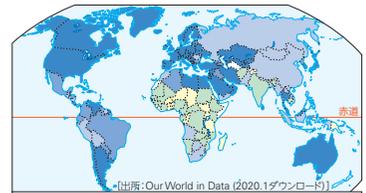
↑2 川の上のトイレ (リベリア・モンロビア, 2021年11月撮影) トイレから直接川に排出されるので、下流では安全な水が利用できず、感染症の原因になる。



↑3 野外にあるトイレ (エリトリア, 2014年8月撮影) 家の中にトイレがなく、瓶に入れた水と石けんを持って野外の共同トイレに向かっている。



↑4 安全な水を利用できる割合 どのような国で安全な水が得にくいのか、また、そうした地域では何が必要か、考えてみよう。



↑5 衛生的なトイレを利用する人口割合 「衛生的なトイレ」は、下水道や浄化槽の整備などにより、排泄物を別の場所で衛生的に処理できるトイレをさす。

衣食住+水+便

生きる上で一番大切なことは何だろう。そう問われて、「食べること」あるいは「衣食住」と答える人はいても、「安全な水を利用すること」や「排泄すること」、「トイレ」と答える人はほとんどいない。しかし、食べることがすべての人に欠かせないことであるように、安全な水を利用すること、排泄することやそれをどのように処理するかという問題は、世界中の人々に関わっている。つまり、一番身近なSDGsとして重要なテーマの一つなのである。実際、SDGsの17の目標のうち、6番目に「安全な水とトイレを世界中に」という目標が掲げられている。

安全な水とは、必要な時に利用可能で、汚染のない水源からの飲料水を得られる状況を意味している。WHO (世界保健機関) の統計によれば、世界には安全な水を利用できる人の割合が90%を越す国や地域と、50%以下の国や地域が同時に存在している(図4)。水道が普及しておらず、遠くまで水を汲みに行かなければならない地域もあり、水資源へのアクセスの改善も課題である(写真1)。また、トイレを含む生活排水の処理が不十分なことによる衛生状態の悪化も深刻化している(写真2)。汚染された水が原因で衛生状態が悪化すると、コレラ、赤痢などの感染症が蔓延する原因にもなる。



各章の学習内容と関連して、自ら資料を収集・整理して作品を作り上げる活動を行う、アクティブなページです。



より深く、楽しく地理を学習するためのトピックを集めたコラムです。



世界の各地域と日本の、産業や生活文化のつながりを紹介するコラムです。



自然災害と向き合い、様々な工夫をしてきた先人たちの歴史的な取り組みを紹介するコラムです。

第1章のまとめ

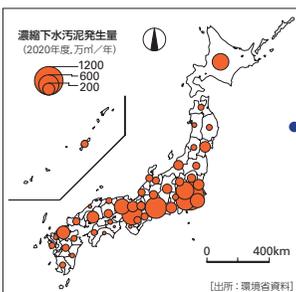
章で学んだ知識や技能を整理するとともに、思考力・判断力・表現力を試し、自己評価を行うページです。



↑⑥ ユニセフの支援で設置されたトイレ(バングラデシュ・ダッカ、2014年8月撮影) 清潔に使えるように、絵入りの説明ポスターが貼られている。



↑⑦ ドアの上下が開いたトイレ(アメリカ・ニューヨーク、2022年5月撮影) 犯罪防止のため、ドアの上下が広く開いている。



↑⑧ 濃縮下水汚泥の発生量
下水処理後に発生する下水汚泥量は、都道府県によって大きな違いがある。この量を規定する要因は何か、考えてみよう。



←⑨ オールジェンダートイレ(ドイツ・ハンブルク、2022年1月撮影) トイレを男女別にするか、ジェンダーフリーを推進するかについては、世界的にも試行錯誤が続いている。



- ① 世界の水とトイレに関する情報を集めて、課題を話し合おう。
- ② 普段使っているトイレが使えなくなる災害時を想定して、対策を考えよう。

● トイレが社会を変える

安全な水やトイレにアクセスできない状況は、SDGsの目標6だけでなく、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」、目標13「海の豊かさを守ろう」などにもつながる、社会全体に関わる重要な課題といえる。WHOとユニセフ(国連児童基金)の調査によると、日本や欧米諸国では安全に管理されたトイレを使用する人口割合が高い一方、南アジアやアフリカ諸国などは低い(図9)。こうした地域では、プライバシーが確保されていない野外の共同トイレが多くみられる(写真10)。そうした地域に安全なトイレ(写真11)を建設するなどの国際支援が試みられているが、水の得にくさや、継続的なメンテナンスが課題となっている。また、ジェンダーや地域の治安、文化、習慣などに即してトイレのあり方を考える必要があり、トイレの理想的なあり方については試行錯誤が続いている。そのため、世界各国のトイレの多様性を知ることも重要である(写真12、写真13)。

● 下水汚泥の行方

下水処理施設が普及している日本のような国でも、処理後に発生する産業廃棄物としての下水汚泥をどうするかという問題が残されている(図10)。汚泥の発生量は人口数に比例する傾向があるため、都市への人口集中ともかかわる問題であるということも重要な論点となる。最近ではエネルギー、建材、緑農地への還元など、さまざまなリサイクル方法が模索されている(写真10)。



↑⑩ 汚泥をリサイクルしたブロック(日本、2022年11月撮影) 汚泥の焼却灰を固めたブロックが歩道整備に利用されている。

問題解決を行うための主題図

人口が多い地域ほど、濃縮下水汚泥の発生量が多いことを表しています。都市と地方、東京への一極集中は主に人口を指標に論じられることが多いですが、下水汚泥の偏在から都市問題まで考察することができます。

考察を促す「TRY!」

学習した内容を考察し、話し合ったり、発表したりする「TRY!」を随所に設けています。生徒が主体的に取り組むことで、深い学びへと導くことができます。

持続可能な社会を築くための解説

世界にはさまざまな自然環境・社会環境があり、理想的なトイレのあり方とはどのようなものか、考察を促す本文と図版を掲載しています。

よりよい未来社会を考えるための「構想しよう」

「Think globally」の観点から、持続可能な未来社会の実現を目指すためにはどうしたらよいか、ページのおしまいに問いかけを設けて、構想を促します。

構想しよう

これまで学んできた生活文化や地球的課題を踏まえて、世界の人々の多様な居住環境や、文化・習慣に寄りそった、理想的なトイレのあり方について構想してみよう。

1章 地図とGISの活用 11テーマ

1節 球面上の世界と地図の活用

1	球面上の世界と地図	10
2	時差と生活	12
3	世界地図でとらえる地球	14
4	国家の領域と海洋の役割	16
5	日本の位置と領域	18
6	身のまわりのさまざまな地図	20
7	地図とGIS	24

Act ① デジタル地球儀 26

2節 国家間の結びつき

ST 日本と世界はどのように結びついているだろうか? 28

1	国家群による結びつき	30
2	貿易による結びつき	34
3	交通・通信による結びつき	36
4	観光による結びつき	38

Act ② まちのプランニング 40

社会で役立つ地理の力 世界情勢を地図でみてみよう! 44

2章 生活文化の多様性と国際理解 29テーマ 事例数 21

1節 自然環境と生活文化

ST 世界の自然環境に合わせた保存食をみてみよう 46

1	地球上の地形のなりたち	48
2	山地と平野の生活	50
3	海岸部の生活	52
4	地球上の気候のなりたち	58
5	暑い気候に対応した生活	事例 アフリカ 62
6	乾燥した気候に対応した生活	事例 サウジアラビア, モンゴル 64
7	季節の違いに対応した生活	事例 大陸の東岸と西岸 66
8	寒冷な気候に対応した生活	事例 シベリア 68

Act ③ フォトランゲージ 70

2節 多文化共生社会と生活文化

ST 祈りの姿を通して宗教の多様性をみてみよう 72

1	世界の宗教	74
2	仏教圏の生活文化	事例 仏教圏 76
3	キリスト教圏の生活文化	事例 キリスト教圏 78
4,5	イスラーム圏の生活文化/地域性	事例 イスラーム圏 80
6	世界の言語	84
7	植民の歴史と生活文化	事例 ラテンアメリカ諸国 86
8	多文化共生の実現	事例 オーストラリア 88

Act ④ ケーススタディ 90

3節 産業の発展と生活文化

ST 世界ではどんな産業が行われているのだろうか? 92

1	農業の地域性	94
2	農業と生活文化	事例 インド 98
3	工業の発展	100
4,5	工業の発展による変化①, ②	事例 中国 102
6	工業の発展と国際分業	事例 東南アジア 106
7	脱工業化の動き	事例 韓国 108

Act ⑤ ジグソー法 110

4節 グローバル化の進展と生活文化

ST Tシャツはどこからきて、どこへいくのだろうか? 112

1~3	グローバル化の進展と課題①~③	事例 アメリカ 114
4~6	地域統合による変化①~③	事例 ヨーロッパ 120

Act ⑥ 商品企画 126

社会で役立つ地理の力 世界イチバンの地を旅してみよう! 128



各節の学習の流れ

学習の流れ	導入	ST スタートシンキング	導入部で、具体的な写真や統計を通して問いかけ、興味・関心を高めます。
	授業ページ	世界を大観	各分野について、世界スケールで分布や変化、関連性を考えさせます。
		地域事例	実際の地域や事例でおきていることや課題を通して、具体的に考察させます。
実践	Act アクティビティ	節の学習内容を発展させる場面・手法を設定。個人やグループで主体的に考察や意見交換、発表させます。	





**16テーマ
事例数 8**

3章 地球的課題と国際協力

1節 人口問題

ST 世界の人口はどのように移り変わり、今後はどうなっていく? ……132

1 世界の人口問題 ……134

2 自然増減にかかわる人口問題 **事例** インドとスウェーデン ……136

3 人の移動と難民問題 ……138

4 少子高齢化と人口減少 **事例** 日本 ……140

Act ⑦ ミステリー ……142

2節 食料問題

ST 飢餓と飽食。世界の食料は不足している? 足りている? ……144

1 世界の食料問題 ……146

2 世界の水問題 ……148

3 食料不足の問題 **事例** アフリカ ……150

Act ⑧ ダイヤモンドランキング ……152

3節 居住・都市問題

ST あなたはどのようなところに住みたい? ……154

1 世界の居住・都市問題 ……156

2 人口集中による都市問題 **事例** メキシコシティとジャカルタ ……158

3 都市の再開発 **事例** ロンドンとニューヨーク ……160

Act ⑨ ディベート ……162

4節 資源・エネルギー問題

ST エネルギー資源はどのように変化してきたか? ……164

1 エネルギー資源の産出・消費と課題 ……166

2 鉱物資源の産出と消費 **事例** オーストラリア、南ア共和国、
コンゴ民主、日本 ……168

3 再生可能エネルギーへの移行 ……170

Act ⑩ ディスカッション ……172

5節 地球環境問題

ST 地球環境問題はどこでどのように発生している? ……174

1 地球温暖化 ……176

2 熱帯林の減少 **事例** アマゾン・東南アジア ……178

3 砂漠化の進行 **事例** アラル海 ……180

Act ⑪ ロールプレイング ……182

社会で役立つ地理の力 課題解決へ SDGsの17目標の関連性から考えよう! ……184

**11テーマ
事例数 3**

4章 生活圏の諸課題

1節 自然環境と防災

1 日本の地形と生活 ……188

2 日本の気候と生活 ……190

3 気象災害と防災 ……192

4 火山の噴火と防災 ……198

5 地震・津波と防災 ……200

6 都市特有の災害と防災 ……204

7 防災・減災への心構え ……206

Act ⑫ フィールドワーク ……208

2節 持続可能な地域づくり

1 生活圏の課題の発見 ……210

2 事前調査と仮説の設定 **事例** 尾鷲市 ……212

3 現地調査 **事例** 尾鷲市 ……214

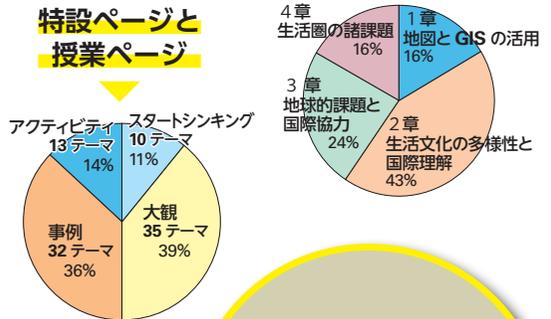
4 調査のまとめ・考察 **事例** 尾鷲市 ……216

Act ⑬ プレゼンテーション ……218

社会で役立つ地理の力

現在進行形のまちづくりをみてみよう! ……220

各章のページ数構成



世界・日本について
67の授業ページ
事例数は **32**
13のアクティビティ
で構成しています。

Feature

特色
1

問いかけから始まる紙面

「なぜ」をきっかけとする問いかけ（主題）から始まりますので、単なる知識の習得だけでなく、自ら考え、すじみちを立てて思考する深い学びを実現できます。

特色
2

「学習の流れ」と「まとめよう」で生徒の理解をサポート

「学習の流れ」により、教科書の各ページで求められていること、留意することを常に把握できます。また、「まとめよう」で各ページの振り返りを行い、学習のゴールを明確にしています。

特色
3

見開き完結のレイアウト

基本的に1つのトピックが見開き（2ページ）で構成されているため、授業計画が立てやすく、生徒も「今日どこまでやるのか」が把握しやすい構成になっています。

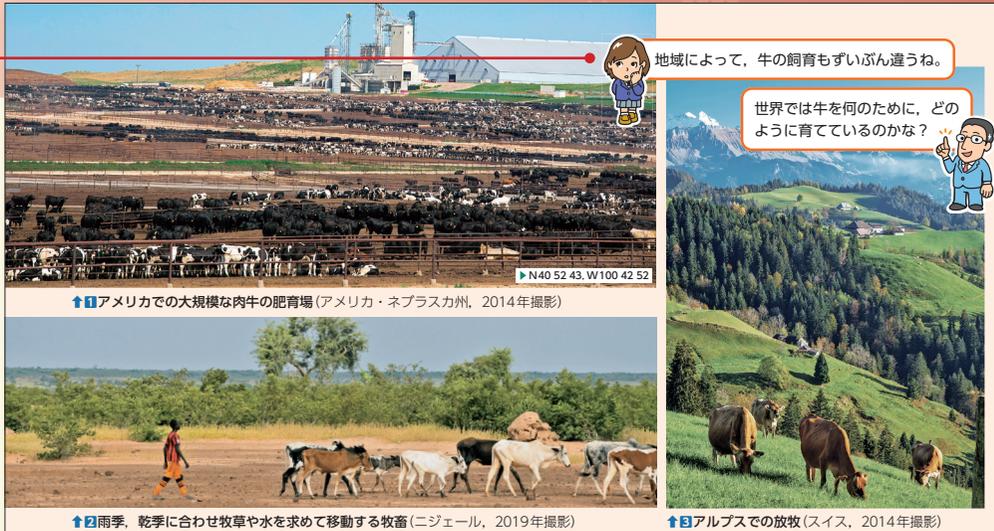
導入部の発問で、図や写真に注目させ、生徒の気づきを促します。

各ページに、問いかけ型の主題を設定。学習の位置付けが明確になります。地域事例の学習には**事例**を配置しています。

「学習の流れ」で、このページの学習の段階的な展開を明示しています。

本文に取り上げた用語や、書かれている内容について解説文を補っています。

わかりやすく視認性の高い図版を掲載しています。図版には、図の読み取り方を丁寧に示した解説を示し、生徒の独学時にも資料読解の「コツ」を自然に習得することができます。



↑1 アメリカでの大規模な肉牛の肥育場（アメリカ・ネブラスカ州、2014年撮影）

↑2 雨季、乾季に合わせ牧草や水を求めて移動する牧畜（ニジェール、2019年撮影）

↑3 アルプスでの放牧（スイス、2014年撮影）

地域によって、牛の飼育もずいぶん違うね。

世界では牛を何のために、どのように育てているのかな？

1 農業の地域性

学習の流れ

- ① 世界の作物はどのような自然条件のもとでつくられているか、図を比較して読み取る。
- ② 社会条件は農業にどのような影響を与えているかを調べる。
- ③ 農業は、技術の発達によって、どのように変化してきたのかを考える。

- 1 酪農 飼料作物や牧草などを栽培し、乳牛を飼育して、牛乳や乳製品を生産する農業形態のこと。

年 月	N年												N+1年						
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7		
中国(冬小麦)																			
インド																			
E U																			
アメリカ(冬小麦)																			
アメリカ(春小麦)																			
日本																			
オーストラリア																			

↑4 小麦カレンダー 冬小麦は秋に種を蒔き、初夏に収穫し（冬を越す）、春小麦は春に種を蒔いて秋に収穫する。南半球の国や、アメリカ、中国など国土の広い国では、冬小麦と時期をずらして春小麦が栽培される。

地域によって農業が違うのはなぜだろうか？

自然条件からみた農業の地域性

世界各地の農業にはどのような違いがあるだろうか。写真1～3のように同じ牛の飼育でも地域によってようすが異なる。なぜ違いが生まれるのだろうか。図5の農業地域区分図を、世界の気候区分や地形の分布の図と比べてみよう。

気候に着目すると、アフリカ大陸とユーラシア大陸の乾燥帯、北極海沿岸の寒帯や亜寒帯では、乾燥や低温によって作物栽培が困難なため、家畜とともに移動しながら生活する遊牧が行われている（写真2）。地形に着目すると、アルプス山脈周辺では丘陵や山地などの地形を利用して酪農が行われ（写真3）、アメリカの半乾燥地帯では広大な土地を利用して大規模な肉牛の肥育場がつけられている（写真1）。農業の地域性は、気候や地形などの自然条件と深くつながっている。

社会条件からみた農業の地域性

農業の地域性は、市場との距離や輸送時間、地域の食生活や食文化といった社会条件とも深く関係している。農産物の生産地域は、農業用機械の普及や冷凍船といった輸送手段の発達などによって広がってきた。世界の主食ともいえる小麦は、南北両半球で収穫時期をずらしながら生産され、大型の貯蔵庫や輸送船によって、世界中に輸出されている（図4）。

94



主食って何なの？ 日本で主食といえば米で、おかずは副食になる。しかし、欧米では主食、副食という概念がなく、小麦も主食ではない。主食とはエネルギー源となるおもな食物という意味で、例えば、イヌイットの場合は肉や魚が主食になる。

このページに関連するおもしろい雑学や裏事情など、トリビア的な情報を掲載しています。

Check!

大観ページと地域事例ページ

各節について、世界スケールで分布や関連性を大観するページを設けています。また、それに続く地域事例ページでは具体的に諸地域での事例を取り上げます。

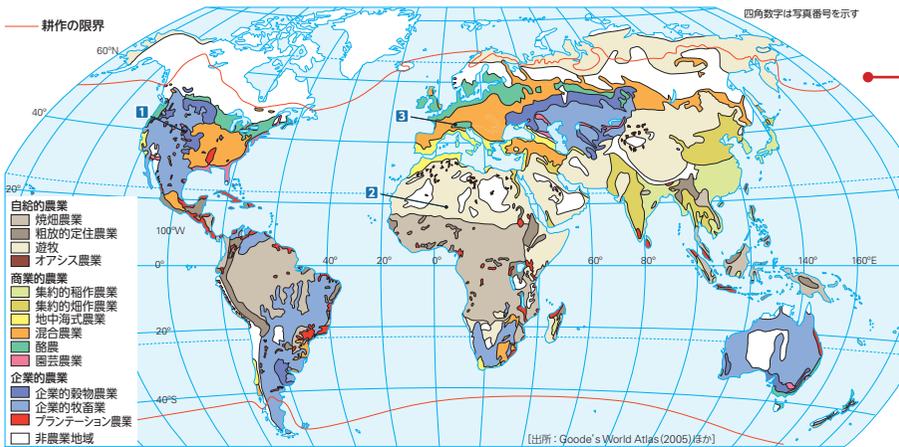
(例)	章・節	大観ページ	地域事例ページ
	2章1節 自然環境	世界の地形／気候	熱帯（アフリカ）、乾燥帯（サウジアラビア、モンゴル）など
	2章2節 多文化共生	世界の宗教	仏教圏、キリスト教圏、イスラーム圏
	2章3節 産業	世界の農業／工業	農業（インド）、工業（中国、東南アジア、韓国）

地図中には同じページで掲載している写真の撮影場所を示し、地図と写真の位置関係をすぐに理解させることができます。

カラーユニバーサルデザインを取り入れ、色覚特性のある生徒に配慮しています。

写真や図・グラフから、地理的事象の読み取り方を促します。

地図帳を開いて確認させるポイント示し、教科書の内容を発展させます。



↑ 世界の農業地域区分 アメリカの地理学者ホイットルセーは、世界の農業のようすを作物や家畜の種類、生産の目的などから区分した。同じ農業形態であっても地域の特色にあわせて農業が行われるため、さまざまな違いがある。【読み取り】写真1-1、2の農業地域区分を確認してみよう。

自給目的から販売目的へ 農業の違いは生産目的や方法にもみられる。農業は、自分たちの消費に向けた**自給的農業**と、販売のための**商業的農業**に分けられる。自給的農業には、アジアやアフリカで伝統的に行われてきた**遊牧**や**焼畑農業**がある。かつては自給的農業が中心だった地域でも、経済発展によって都市部の人口が増加したため、商業的性格が強くなっている。ヨーロッパでは穀物栽培と家畜飼育を組み合わせた**混合農業**がさかんになり、大都市向けに酪農や、都市近郊で野菜や果物などを栽培する**園芸農業**が発達した。アメリカのグレートプレーンズやアルゼンチンのパンパなどで小麦やとうもろこしを栽培する**企業の農業**も、利益追求のために商業的農業の規模を拡大した農業形態といえる。

農業技術の進歩による影響 農業は、農業技術の進歩や品種改良によっても変化してきた。冷凍・冷蔵技術や輸送手段の発達によって、アメリカ内陸などの半乾燥地域でも消費地との距離に関係なく、肉牛の飼育や肉類の輸出ができるようになった。また、**品種改良**によって、それまで栽培が難しかった寒冷地でも作物の栽培が行われるようになり、**遺伝子組み換え**によって、除草剤や害虫に強い品種がつくられたりしている。農業は、単に農作物を栽培するだけでなく、その加工や流通、販売も組み合わせた生産活動へと変化している。

まとめよう 世界各地で行われているさまざまな農業は、どのような自然条件や社会条件のもとで発達してきたか、農業技術の進歩と関連づけてまとめてみよう。

地図帳 それぞれの農業地域の分布は、どのような地形や気候と関係しているか、考えてみよう。

Topic トピック 1×2×3の連携で6次産業化

日本では、農業と「食」の関係が大きく変わってきている。女性の社会進出や単身世帯の増加によって、冷凍食品やフリーズドライ食品など、保存や調理のしやすい加工食品の需要が高まり、農家と大手スーパーや外食産業が連携して商品開発を行っている。さらに、農家レストランや体験農園もみられるようになった。こうした農業の多角化を、第1次産業（農業）と第2次産業（加工）、第3次産業（流通・販売）が連携した動きととらえ、掛け合わせて「6次産業化」とよんでいる。



2章 3節 産業の発展と生活文化

生徒の興味・関心を喚起するコラムを掲載しています。

Topic トピック 51 このページに関連する地理のおもしろい話題を取り上げています。

世界の「衣・食・住」 11 世界の生活文化を紹介して国際理解をはかります。

私たちにできるSDGs 7 持続可能な社会に向け私たちにできることを提案しています。

日本とのつながり 11 日本と世界とのつながりを紹介して国際理解をはかります。

本ページで学習したことの確認や発展的な問いを設定。生徒自らに考えさせます。

Feature

特色 1 節末に配置

各節のおしまいに配置し、節学習の総仕上げとして取り組むことができます。知識のインプットから自ら取り組むアウトプットに繋げることで学習効果をあげることができます。

特色 2 個人学習からグループ学習まで

個人で学習するものから、グループで考え、まとめあげるものまで多様なアクティビティを用意しましたので、授業の進行や習熟度に応じた学びを実践できます。

特色 3 アクティビティ学習専用のデジタルサポート

「デジタルコンテンツ集」(別売)には、アクティビティ授業専用の手引書、スライド、ワークシート、評価規準表などサポート教材を用意し、先生のアクティビティ授業を全面的にバックアップします。

学んできた本節の内容を受けて、このアクティビティではどのような内容を行うのかの見取りを示します。

産業構造を読み解く際の前提となる資料を取り上げます。ここでは、第1次から第3次までの産業別人口構成について、各国でどのように違うのか、どのような傾向があるのかを読み解きます。

経済成長を遂げることによって、産業構造が変わっていく様子を三角グラフを用いて確認します。初見のグラフでも、読み解き方を説明しており、生徒もすぐに理解できます。



Activity -アクティビティ- ⑤ ジグソー法

産業構造から経済をみてみよう

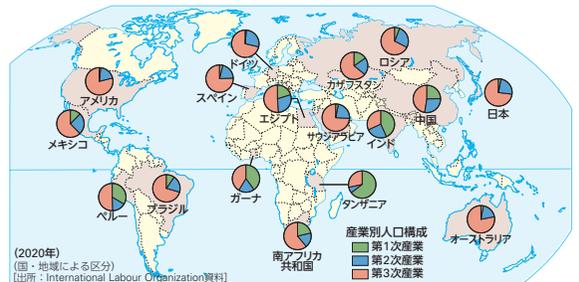
この章では、さまざまな産業が技術向上や生産規模の拡大により、自給的な生産から、国内市場、国際市場向けへと変化してきたことを学習した。ここでは第1次・第2次・第3次産業という産業別の分類から、産業の変化を経済発展と関連づけてみていこう。

経済の発展と産業構造の変化

図2のおもな国の産業別人口構成をみてみよう。第1次産業人口の割合の高い国は、アフリカの国々やインドがあげられる。第2次産業人口の割合は国によって大きく変わらないが、サウジアラビアやロシアといった鉱産資源を多くもつ国もみられる。商業・サービス業などにあたる第3次産業人口の割合が高いのは、先進国が中心である。経済の発展に伴い、中心となる産業が第1次産業から第2次、第3次産業へと変化していく。

第1次産業	農業、林業、水産業
第2次産業	鉱業、製造業、建設業
第3次産業	商業、運輸業、観光業、金融業、不動産業、公務、教育業、保健衛生業、水道業、電気・ガス供給業、その他のサービス業 など

↑ 産業の分類

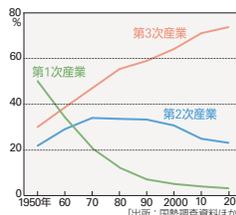


↑ おもな国の産業別人口構成

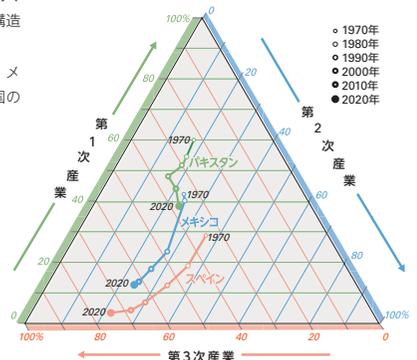
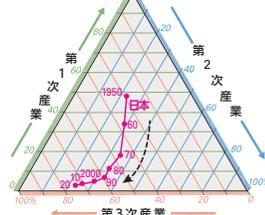
産業別人口構成の変化を三角グラフでみてみよう

産業構造別人口構成が変わっていくようすを、日本を例にみてみよう。図3左のように時代とともに、第1次産業の割合が減り、第3次産業の割合が高くなっていく。その変化を図3右の三角グラフにあらわすと、各時代の産業構造を示す点が、左下へと移動していることがわかる。

図3の三角グラフは、p.92のスタートシンキングで扱ったパキスタン・メキシコ・スペインの産業構造の変化をあらわしている。3か国とも、その国の経済が発展するとともに、点が左下へと移動している。



↑ 日本の産業別人口構成の変化(折れ線グラフと三角グラフでの表現)



↑ 産業別人口構成の変化(スタートシンキングの3か国)

三角グラフは、三つの指標をとらえやすいよう図化したもの。第1次産業はグラフの上方に、第2次産業は右下に、第3次産業は左下にあるほど割合が高いことになるよ。



章	節	手法	テーマ
1	1	デジタル地球儀	デジタル地球儀で映画のロケ地を巡ろう!
	2	まちのプランニング	架空のまちマップ、どこに何を配置する?
2	1	フォトランゲージ	自然環境に合わせ、住居にどのような工夫をしているか?
	2	ケーススタディ	外国人の人々との交流、あなたならどうする?
	3	ジグソー法	産業構造から経済をみてみよう
3	4	商品企画	相手国の市場を分析、新商品の企画をたててみよう
	1	ミステリー	インドの人口問題について考えてみよう
	2	ダイヤモンドランキング	アフリカの食料問題に対してどのような国際協力が有効か?
	3	ディベート	ロードサイド型ショッピングセンターの出店計画、賛成? 反対?
	4	ディスカッション	日本の安定したエネルギー供給にほどの発電方法がよいか?
4	5	ロールプレイング	越境して広がる環境問題に、どう取り組むか?
	1	フィールドワーク	身近な地域を歩いて調べて、地図に整理しよう
	2	プレゼンテーション	持続可能な地域づくりについて発表しよう

① ジグソー法 グループごとにテーマについて話し合いながら調べまとめる活動(エキスパート活動)を行ったあと、わかったことなどを別のテーマを調べたメンバーに説明・共有し合うことで、学びを深める学習。



2章

3節 産業の発展と生活文化

チャレンジ 日本の産業はどのような課題をかかえており、解決に向けてどのような対策がとられているだろうか。ジグソー法を用いて、各産業のなかから課題を取り上げ、その課題に対する対策について調べて話し合ってみよう。

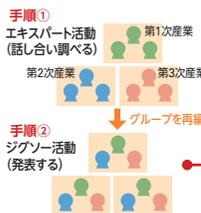
手順① エクスパート活動(話し合い調べ)

第1次・第2次・第3次産業の三つのグループに分かれ、それぞれの産業が直面する課題を考え、その対策としてどのような動きがみられるか、調べてみよう。具体的な事例を一つ取り上げ、持続可能な産業の発展に対し、どのような効果をあげているか話し合ってみよう。

手順② ジグソー活動(発表する)

異なるエキスパート活動を行った人とグループを組みなおす。手順①のグループで話し合ったことを発表しあい、情報を共有する。

手順③ 話し合いや発表で聞いたことを踏まえて、日本の産業活動を維持するためにどのような取り組みを行うのがよいか、自分の考えをまとめてみよう。



左ページで学んだ産業構造の変化を受けて、実際に日本の各産業(第1次~第3次)は、現状、どのような課題を抱えているのかを分析します。各自でそれぞれの課題と対策について調べ、グループを組んで互いに説明し、意見を述べあう活動であるジグソー法を行います。

ジグソー法の手順について解説します。

グループをつくり、第1次・第2次・第3次の各産業が抱える課題についてインターネットなどを利用して調べます。様々な課題が上がったなかから、課題解決に向けた対策例をさらに調べ、その対策が持続可能な発展に向けてどのような効果をあげているかまとめ、発表活動(ジグソー活動)を実践していきます。

対策についての事例調べの例

● 第1次産業の課題
就業者の高齢化と後継者不足

調べる対策の例

- GNSSを活用した農作業の無人化
- 企業経営の参入による採算性の向上
- 食品加工・販売とも連携した商品戦略
- 外国人労働者の受け入れ

など

GNSSを活用した農作業の無人化

これまで人の手によって行われてきた農業機械の運転の自動化だけでなく、位置情報を活用することで肥料散布の効率化や、目見て経路が確認できない場面での作業も可能になり、効率があがる。個人の経験ではなく、蓄積されたデータにもとづいた栽培が可能となる。近年は、スマホを活用した、より使いやすい形で安価に導入できるようになってきている。

【活用例】無人自動運転による精密作業
高精度の測位により無駄な空間なく作業が進む。

● 第2次産業の課題
就業者の高齢化による労働力の不足

調べる対策の例

- 産業用ロボットの導入
- 女性や高齢者の積極的な雇用
- 外国人労働者の受け入れ
- 業務の改善や効率化についての見直し

など

産業用ロボットの導入

機械や食品の生産工程などで、人間の代わりに作業を行うロボットの導入が進んでいる。人手不足対策に加え、人間が行うには危険な作業もロボットにより安全性が保たれる。さらに、ミスが少なくなって品質の安定につながり、生産効率もあげることができる。人の手による技術的な作業をサポートするロボットの開発や導入も進んでいる。

【導入例】組立作業のロボットとの協業
ロボットアームとの協業で精度や効率アップ。

● 第3次産業の課題
人口減少による市場の縮小

調べる対策の例

- 販売店の海外展開
- 新たな付加価値の創出(モノよりコト)
- シェアリングによる新たなサービスの創出
- 余暇時間の充実による市場拡大

など

販売店の海外展開

飲食店などの外食産業が国内の店舗に加え、海外に進出することで売り上げの拡大をめざしている。日本の食文化やヘルシーさ、日本ならではのきめ細かいサービスが人気を得ている。手軽に食べられるファストフードやラーメン、どんぶりものをはじめ各種チェーン店が、中国や東南アジアなどの消費意欲の高い人口の多い都市を中心に、店舗を増やしている。

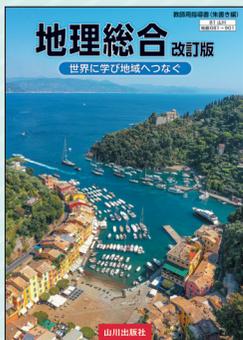
【展開例】ベトナム・ホーチミンへの海外展開
日本のカレーの味とサービスのよさが人気。

それぞれの産業に伴う課題のさまざまな対策は、日本や世界のように大きく変えるものである。これから先も、現在行われている産業活動を維持するためには、何を行うべきか考えてみよう。

地理総合 改訂版 教師用指導書 朱書き編

地総 081-901 準拠

B5判・262頁・4色刷

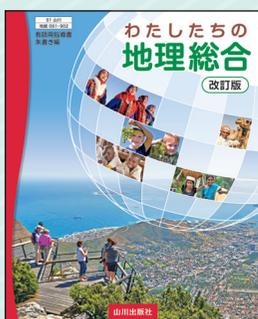


- Point 1 「学習の流れ」をスムーズに！**
イントロからまとめまで、1授業時の授業展開をわかりやすく提示しました。
- Point 2 主題図や統計、本文の背景、読み解くポイントを明確に！**
図や写真、本文の着目点や考察のヒントを、朱書きにより丁寧に説明しました。
- Point 3 基礎事項を簡潔にまとめて「板書例」！**
準拠版ワーク、授業用スライドとも連動し、見開きの要点を簡潔にまとめました。

わたしたちの地理総合 改訂版 教師用指導書 朱書き編

地総 081-902 準拠

AB判・230頁・4色刷



- Point 1 「学習の流れ」をスムーズに！**
発問からまとめまで、1授業時の主題型展開をわかりやすく提示しました。
- Point 2 ここに注目！図や写真、本文のポイントを提示！**
朱書きにより、図や写真、本文の着目点の解説や考察のヒントを充実しました。
- Point 3 学習をより発展的に！地理からの視点を提示！**
準拠版ワーク、授業用スライドとも連動し、見開きの要点を簡潔にまとめました。

地理総合 改訂版 わたしたちの地理総合 改訂版 教師用指導書 解説編

地理総合共通

B5判・120頁・1色刷



- Point 1 地理総合の全分野を網羅！**
「国際理解」では全系統分野と10事例地域を解説。汎用性の高い内容構成。
- Point 2 ここに注目！図や写真、本文のポイントを提示！**
わかりやすく簡潔な解説により、地理専門外の先生をしっかりサポート。
- Point 3 学習をより発展的に！地理からの視点を提示！**
教科書に書ききれなかった地理的な背景や現在の動向などを詳しく解説。

地理総合 改訂版 わたしたちの地理総合 改訂版 指導者用デジタル教科書(教材)・ 学習者用デジタル教科書



- ・指導者用デジタル教科書は、教師用指導書とのセット販売のみとなり、指導者用デジタル教科書単体での販売は行いません。
- ・地理総合のデジタル教科書は、「クラウド版」のみの販売となります。

●デジタル教科書 商品概要

	指導者用 デジタル教科書(教材)	学習者用デジタル教科書
提供方法	クラウド版	
使用期間	教科書ご利用期間内	教科書ご利用期間内
クラウド版 ライセンス形式	学校内フリーライセンス	1ユーザー1ライセンス
利用者端末 動作保証環境	<ul style="list-style-type: none"> ● iPad OS ブラウザ：Safari ● Chrome OS ブラウザ：Google Chrome ● Windows 11 ブラウザ：Microsoft Edge・Google Chrome 	
基盤システム	みらいスクールプラットフォーム	

地理授業用の独自機能を搭載!!

Google Earthの地形動画，レイヤ切替地図，地理院地図表示機能などを搭載予定です。

『令和9年度教師用指導書目録』掲載予定商品一覧

地理総合の教師用指導書関連教材は、下記のセット内容で販売を予定しています。

商品ラインナップ	教師用指導書セット			指導者用 デジタル 教科書 ※2	ICTライブラリ 法人向け 定額制コース (1年間) ※3
	朱書き編	解説編	デジタル コンテンツ集 ※1		
教師用指導書 朱書き編 教師用指導書 解説編 教師用指導書 デジタルコンテンツ集 指導者用デジタル教科書 ICTライブラリ法人向け定額制コース(1年間)	●	●	●	●	●
教師用指導書 朱書き編 教師用指導書 解説編 教師用指導書 デジタルコンテンツ集 指導者用デジタル教科書	●	●	●	●	
教師用指導書 朱書き編 教師用指導書 解説編 教師用指導書 デジタルコンテンツ集	●	●	●		
教師用指導書 朱書き編 教師用指導書 デジタルコンテンツ集	●		●		
教師用指導書 朱書き編(書籍単体) 教師用指導書 解説編(書籍単体)	●	●			
教師用指導書 デジタルコンテンツ集(データ単体)			●		

【注意】

※1 教師用指導書「デジタルコンテンツ集」は地理総合教科書2点、歴史総合教科書3点のすべてのデジタルコンテンツが収録されています。

※2 「指導者用デジタル教科書」はご採用いただいた教科書のみご利用いただけます。

※3 「ICTライブラリ法人向け定額制コース」を現在ご契約中の学校様は、ご利用期間を12ヶ月延長します。

地理総合・歴史総合

教師用指導書 デジタルコンテンツ集

教師用指導書 デジタルコンテンツ集は、地理総合・歴史総合 計5点分のコンテンツをすべて収録！

- ・「デジタルコンテンツ集」には、『地理総合』『わたしたちの地理総合』2冊分と、『わたしたちの歴史』『現代の歴史総合』『歴史総合』3冊分のコンテンツを収録しています。
- ・収録されたすべてのコンテンツをご利用いただけます。

コンテンツ名	ファイル	歴史総合			地理総合	
		わたしたちの歴史	現代の歴史総合	歴史総合	地理総合	わたしたちの地理総合
1 教科書紙面	PDF	●	●	●	●	●
2 指導書紙面	PDF	●	●	●	●	●
3 教科書 本文テキスト	txt	●	●	●	●	●
4 教科書掲載地図・図表データ (カラー)	PNG	●	●	●	●	●
5 教科書掲載地図・図表データ (モノクロ)	PNG	●	●	●	●	●
6 教科書掲載地図・図表データ (モノクロ文字なし)	PNG	●	●	●	●	●
7 教科書掲載問い・解答例一覧	Excel	●	●	●	●	●
8 レイヤー分け地図データ	PDF	●	●	●	●	●
9 白地図	PNG	●	●	●	●	●
10 授業用スライド	PowerPoint Googleスライド	●	●	●	●	●
11 準拠ノート対応スライド	PowerPoint Googleスライド	●	●	●	●	●
12 準拠ノート紙面	PDF	●	●	●	●	●
13 準拠ノートテキスト	Word	●	●	●	●	●
14 「〇〇化への問い」「〇〇な諸課題」へ取り組むためのワークシート	Word	●	●	●		
15 巻頭資料・歴史の舞台へ取り組むためのワークシート	Word	●		●		
16 教科書掲載問い対応ワークシート	Word			●		
17 知識確認問題 ※〈知識・技能〉対応	Word Googleフォーム Microsoft Forms	●	●	●	●	●
18 定期テスト問題 ※〈知識・技能〉〈思考・判断・表現〉対応	Word	●	●	●	●	●
19 自己評価・振り返りシート ※〈主体的に学びに向かう態度〉対応	Word	●	●	●	●	●
20 大学入学共通テスト過去問題 (試行問題～2026年度)	PDF	●	●	●	●	●
21 歴史総合学習のための世界地理	PDF	●	●	●		
22 授業用動画	MP4	●	●			
23 MANDARA統計データ	Excel/Word				●	●
24 Google Earth動画	MP4				●	●
25 地理総合アクティビティ教材	PDF/Word PowerPoint				●	●
26 教科書掲載地形図・読図ワークシート	PDF				●	●
27 年間指導計画表・評価規準例	Excel	●	●	●	●	●

地理総合 改訂版 わたしたちの地理総合 改訂版 教師用指導書 デジタルコンテンツ集 内容紹介

専用ダウンロードサイトから提供いたします。教科書の目次から必要なコンテンツをすぐ探せるようになりました。

教科書紙面

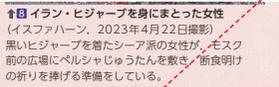
pdf

写真の細部まで見える解像度 !!

- 高解像度 (460dpi) の紙面データを収録
- 写真の細部まで詳細に表示可能



で祈る人々(メッカ, 2023年4月21日撮影)
日が休日になっている。正午には集団礼拝が行
り、メッカに向かって祈る。



↑ ④ イラン・ヒジャーブを身にまとった女性
(イスファハーン, 2023年4月22日撮影)
黒いヒジャーブを着たシリア系の女性が、モスク
前の広場にベルシャビゅうたんを敷き、断食明け
の祈りを捧げる準備をしている。



↑ ④ オマーン・伝統的な帽子を被った男性(マス
カット, 2022年4月12日撮影) オマーン男
性は、クツマという独特の丸い帽子を被る。海洋
帝国時代にアフリカのザンビア川島から伝わった。



ゲシの旧市街(2018年11月10日撮影)
男性も女性もジュラバというロング丈の民族衣装
ジュラバには多様な色のある。



授業用スライド

pptx

- 教科書の単元ごとに構成
- 要点を整理し、学習のポイントを明示
- 授業スタイルにあわせてアレンジが可能

ラテンアメリカの農業

Question: 二つの写真からは、どのような地理的要素が読み取れる?

写真による問いかけを掲載!

ブラジルの大豆畑 エクアドル・オタパロの土曜市

緯度による自然と農業の変化

・ラテンアメリカの農業: 緯度により異なる気候条件に対応した農業

- アマゾン川流域: 熱帯雨林
 - ・焼畑によるキャッサバ栽培
 - ・近年は伐採により大豆畑や牧場に
- ブラジル南部の高原地帯
 - ・カンボと呼ばれる大草原
 - ・大土地所有制(コーヒー、さとうきび)
- 平坦な草原のパンパ
 - ・小麦、とうもろこしの栽培、牛の放牧

準拠版ワーク、指導書朱書き編とも連動!

教科書掲載図版

png

- カラー、モノクロ、文字なしの3種類
- モノクロ化の際、色数の多い図版は、網掛けやパターンなどを用いて塗り分け

カラー

EUへの加盟年(2022年8月現在、加盟国:27か国)

- 原加盟国 (1955年)
- 1973年
- 1981年
- 1986年
- 1995年
- 2004年
- 2007年
- 2013年

EU統合へのあゆみ

- 1950 フランスのシューマンが相対ドイツ・フランスの石炭・鋼鉄産業の共同管理を提議(シューマン宣言)
- 1952 欧州石炭鉄鋼共同体(ECSC)設立
- 1958 欧州共同体(EEC)、欧州原子力共同体(EURATOM)設立
- 1967 ECSC, EEC, EURATOMを統合し、欧州共同体(EC)発足
- 1993 マーストリヒト条約の発効により、欧州連合(EU)発足
- 2002 単一通貨ユーロ流通開始
- 2009 EUの新基本条約・リスボン条約が発効

EU加盟国でのユーロ導入国(2022年現在)

※ユーロが流通するEU非加盟国

モノクロ

EUへの加盟年

- 1955年
- 1973年
- 1981年
- 1986年
- 1995年
- 2004年
- 2007年
- 2013年

EU統合へのあゆみ

- 1950 フランスのシューマンが相対ドイツ・フランスの石炭・鋼鉄産業の共同管理を提議(シューマン宣言)
- 1952 欧州石炭鉄鋼共同体(ECSC)設立
- 1958 欧州共同体(EEC)、欧州原子力共同体(EURATOM)設立
- 1967 ECSC, EEC, EURATOMを統合し、欧州共同体(EC)発足
- 1993 マーストリヒト条約の発効により、欧州連合(EU)発足
- 2002 単一通貨ユーロ流通開始
- 2009 EUの新基本条約・リスボン条約が発効

EU加盟国でのユーロ導入国(2022年現在)

※ユーロが流通するEU非加盟国

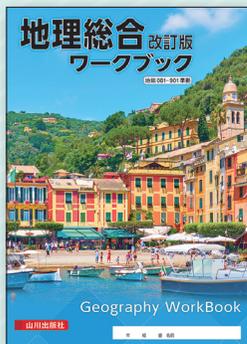
文字なし

例: イギリスは1973年に加盟し、2020年に脱退
(出所: Official website of the European Union)。

Wordなどに貼り付けて使える!

教科書 準拠ノート

地理総合 改訂版



地理総合 改訂版 ワークブック

B5判・96頁・1色刷 定価:700円(税込) 別冊解答(8頁)付

穴埋めによる「内容の整理(Basic)」を左ページに配置、作業と問題からなる「Work & Challenge」を右ページに配置

採用特典 ①紙面テキスト ②紙面PDF(解答・解説あり/なし)
③紙面対応スライド

わたしたちの地理総合 改訂版

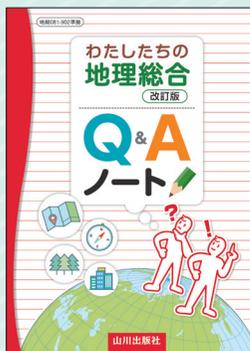


わたしたちの地理総合 改訂版 ワークブック

B5判・88頁・1色刷 定価660円(税込) 別冊解答(8頁)付

穴埋めによる「内容の整理(Basic)」を左ページに配置、作業と問題からなる「Work & Challenge」を右ページに配置

採用特典 ①紙面テキスト ②紙面PDF(解答・解説あり/なし)
③紙面対応スライド



わたしたちの地理総合 改訂版 Q&Aノート

B5判・96頁・1色刷 定価700円(税込) 別冊解答(24頁)付

教科書の内容をまとめ、考察を促す、「主体的で対話的な深い学び」を実践する、新しいタイプの準拠ノート

採用特典 ①紙面テキスト ②紙面PDF(解答・解説あり/なし)
③紙面対応スライド

◆◆ 教科書ラインナップ ◆◆

地理総合



地理総合 改訂版 世界に学び地域へつなぐ

地総081-901

代表者: 菊地 俊夫 (東京都立大学名誉教授)

判型 B5判

ページ数 262ページ

基礎から大学入試まで対応し、国際理解などで旧課程の「地理A」との互換性を保ちつつ、新科目の趣旨を踏まえて主題学習を行うことができる教科書です。



わたしたちの地理総合 改訂版

地総081-902

代表者: 井田 仁康 (筑波大学名誉教授)

判型 AB判

ページ数 230ページ

全67テーマによる主題学習を軸に据えた展開で、生徒の主体的な学習を促す多彩なアクティビティを設定した教科書です。

地理探究



地理探究 改訂版

地探081-901

代表者: 呉羽 正昭 (筑波大学教授)
中西 僚太郎 (筑波大学教授)

判型 B5判

ページ数 342ページ

必修科目である地理総合で学習した基本的な知識や技能を土台として、世界各地の多様な地理的特徴と、現代世界が抱える課題について、系統地理・地誌の2つの側面から考察・探究する教科書です。

地図



詳解現代地図 改訂版

地図081-901

判型 AB判

ページ数 190ページ

地理探究まで使える、
資料図が豊富な詳解現代地図



高等地図帳 改訂版

地図081-903

判型 B5判

ページ数 174ページ

世界地図・日本地図を多数収録!
地図が豊富な高等地図帳



基本地図帳 改訂版

地図081-902

判型 A4判

ページ数 182ページ

生徒が興味・関心を引く、
ビジュアル中心の基本地図帳



コンパクト地理総合地図 改訂版

地図081-904

判型 AB変型判

ページ数 182ページ

新しいカタチ、始まる
コンパクト地理総合地図

教科書特設サイト

各教科書の特徴や内容解説資料をご覧ください。



山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13
TEL 03-3293-8131 / FAX 03-3292-6469

<https://www.yamakawa.co.jp/>